

令和8年度第4回八幡薬剤師会学術研修会のご案内

平素より、本会事業にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
今回の研修会は、下記の内容で研修会を開催いたします。受講のお申し込みは9月23日(水)までお願いいたします。

記

日 時： 令和8年9月25日(金) 19:30～21:00

場 所： 八幡薬剤師会館およびweb研修(Zoom配信)

商品説明： 19:10～19:25 ザズベイ 塩野義製薬

内 容： 19:30～21:00 肺癌と免疫チェックポイント阻害薬
ー過去、現在、未来と徒然なるままに話しますー
長崎大学病院 第二内科(呼吸器内科) 講師 竹本 真之輔 先生

要 旨：

免疫チェックポイント阻害薬 (immune checkpoint inhibitor: ICI) の登場は、肺癌薬物療法を大きく変革した。現在では非小細胞肺癌 (NSCLC) の進行期一次治療において、ICI 単剤、化学療法との併用、さらには CTLA-4 阻害薬を組み合わせた治療など、複数の治療選択肢が確立されている。長期フォローアップからは一部の患者で長期生存が得られることも明らかとなり、肺癌治療の目標そのものが変化しつつある。

一方、ICI の最適な使用法については依然として多くの課題が残る。PD-L1 発現、組織型、転移臓器などに応じた治療選択に加え、高齢者・フレイル患者、自己免疫疾患合併例、透析患者、臓器移植患者など、臨床試験では十分に検討されてこなかった患者への適応も重要な課題である。免疫関連有害事象 (irAE) は多臓器に生じ得ることから、患者教育と早期発見、多職種・多診療科連携による対応が不可欠である。さらに近年は ICI の適応は進行期から周術期へと急速に拡大している。ICI の実臨床導入以降、肺癌診療は大きく変化し、治療成績は着実に向上してきた。今後も治療選択肢と診断技術はさらに多様化すると予想される。個々の患者に最適な治療を届けるためには、新しいエビデンスを適切に取り入れるとともに、診療科や職種の垣根を越えて肺癌診療全体で対応していくことが重要である。

受 講 費： 八幡薬剤師会正会員 (A会員・B会員) と学生：無料
他地区薬剤師会会員：500 円
非会員：3,000 円

申 込 み： 【参加登録】八幡薬剤師会会員・八幡地区非会員・直方鞍手薬剤師会会員の方は、下記 URL または QR コードから日薬研修プラットフォームにお申込みください。



<https://nichiyaku.manaable.com/login>

※受講費を納められた直方鞍手薬剤師会会員・非会員の方には、プラットフォームよりメールが届きます。入金後、入金した旨をご連絡ください。

受講費振込先：福岡ひびき信用金庫 本店営業部

普通 1073984 公益社団法人八幡薬剤師会

単 位： 日本薬剤師研修センター研修単位 1単位 申請中

- ・Zoom へのログインは、必ずご自身のお名前をお願いいたします。
- ・19 時 30 分までにログインしていない方、途中退出の方、継続したログインが確認できない方、司会より退出の連絡がある前にログアウトした方は、受講単位の認定は行えませんので、ご注意くださいようお願いいたします。